

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

呼子イカ東京マーケット販路開拓搬送事業

これまでは実現できなかった「ケンサキイカを活きたまま東京へトラック搬送する技術」を活用し、酸素充填包装後レストランなどへ梱包配送する新搬送システムにより販路開拓を行う。

連携体

農林漁業者

JF呼子町(協同組合)

ケンサキイカの生存率を高めるため、漁業者への指導と陸上生簀での水質と低温度管理を担当する。また、ケンサキイカの集荷を行う。

中小企業者

玄海活魚(株)(活魚卸売業)

ケンサキイカを活きたまま長時間トラックで搬送するノウハウの提供及び酸素充填包装を利用した配送と東京マーケットの開拓。

(株)キョーワ(一般機械器具製造業)、(有)浦川水産(飲食料品卸売業)

連携参加者

佐賀県中小企業団体中央会(経済・文化団体)、唐津市

唐津市は、本計画の事業化による呼子イカブランドを確立するため、全面的にバックアップ。(株)キョーワは、活魚トラックの製造を担当する。(有)浦川水産は、活イカ搬送を共に実施する。佐賀県中小企業団体中央会は、事業推進支援。

サポート機関等

九州大学、佐賀県玄海水産振興センター、地域活性化支援事務局

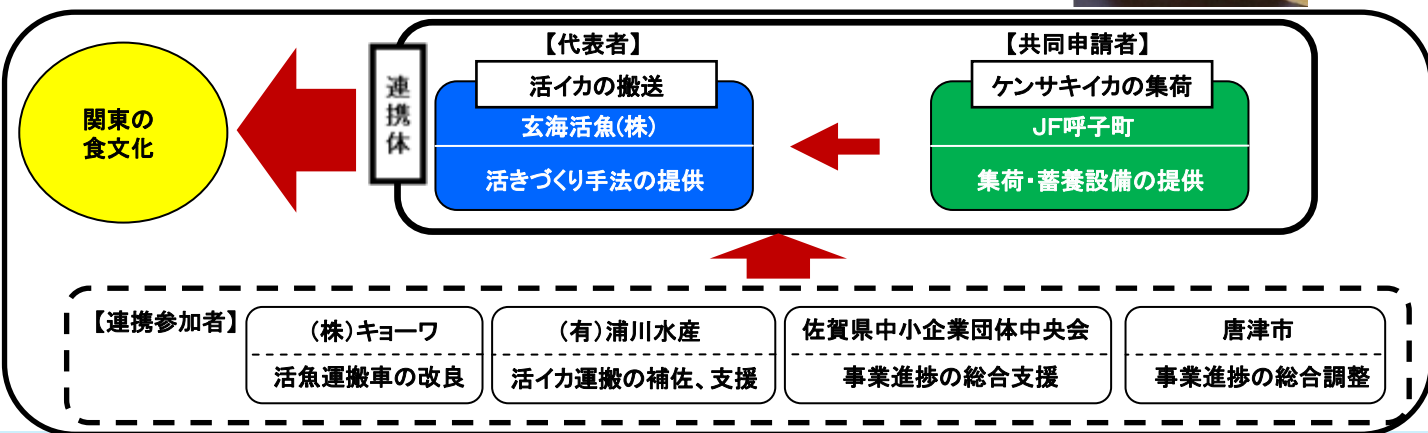
連携の経緯

平成18年～20年にかけて唐津市、九州大学、JF呼子町、佐賀県玄海水産振興センター、佐賀県玄海漁業協同組合連合会、地場企業の産学官連携による技術開発を進め、ケンサキイカの東京までの長距離輸送を可能とする搬送技術を確立した。これを背景として、イカの活魚販売を行う玄海活魚(株)とJF呼子町との連携を核にして事業化することとなった。



連携に当たっての課題や工夫等

JF呼子町は、漁業者への活きイカの取扱いを指導し、さらに陸上生簀での水質管理を徹底した上で、玄海活魚(株)が東京まで搬送する。次に現地での蓄養を経て、活きイカを個別に酸素充填包装し、レストラン等に配送する新しいシステムによる販路開拓を行う。



連携による効果

農林漁業者

3年で1,248万円の売上高増、都市圏への販路開拓による収益増

漁協の利益増のほか、組合員であるイカ漁業者に大きな利益貢献が期待できる。

中小企業者

3年で3,154万円の売上高増、呼子イカのブランド力向上

東京マーケット開拓による利益貢献のみならず、「呼子イカ」のブランド力向上に寄与。

代表企業等の連絡先

企業者名: 玄海活魚株式会社

所在地: 佐賀県唐津市呼子町殿ノ浦508-3

T E L: 0955-82-3913

F A X: 0955-82-5408

E-mail: genkai@e343.com